

論文審査の結果要旨

<p>論文題名： 変形性膝関節症患者における膝関節の生体力学的負荷増大に關与する 身体特性の解明</p>
<p>申請者氏名：横山 萌香</p>
<p>審査の所見</p> <p><論文課題概要></p> <p>変形性膝関節症患者における膝関節の生体力学的負荷を増大・軽減し得る身体特性を明らかにし、進行を予防するための知見を得ることを目指したものである。</p> <p><研究内容></p> <p>研究1として、これまでの先行研究を対象にシステマティックレビューを行い、生体力学的負荷の増減に關与する身体的特性を明らかにしようと試みた。研究2では、研究1の結果を踏まえて膝関節の受動特性に着目してBiodexによる受動運動時に生じるモーメントや力学的特性をViconシステムの運動学的解析に加えて力学的モデル解析を行うにあたり、独自に6分力計を有するアタッチメントを開発する等、高い工学的手法による接近を試みている点で新規性、独創性がある。その結果、変形性膝関節症患者において、受動膝関節屈曲モーメントの増大が認められることを見出し、生体力学的負荷の増減を主体とするリハビリテーションを介入する際の知見を得たものである。</p> <p><科学的到達・新規性></p> <p>研究手法からは客観性、再現性、信頼性を有しており、理学療法的发展への貢献度は高い。博士論文審査会において、提出者による発表は分かりやすく、審査員からの質疑に対する応答も適切と認められた。以上より、本論文は、博士論文としての学問水準に達しており、提出者が自立して研究活動を行うに十分な能力と学識を有することを示すものであると認めるものであった。</p> <p><発展></p> <p>これらの知見は、変形性膝関節症患者における変形性膝関節症の進行を予防するための科学的知見を新たに提供し得るものであり、臨床的にも意義ある研究結果と考えられた。</p> <p>以上のことから、本論文は博士（健康科学）の学位授与に値するものとして認める。</p>

機関リポジトリ用

【審査員】

主査： 田中 健一

副査： 原 和彦

副査： 阿南 雅也